

## 「全鍍連」 2024年 12月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 藤田 泰三 (株)エフテックス 代表取締役会長)

### 「いっぺんきてみんさい 「しまなみ海道」

日本政府観光局の発表によると今年1～8月の訪日客は2500万人、特に中国やシンガポール、米国からの訪日客数が全体を押し上げ、年換算で8兆円その消費額は国内消費額の6パーセントに当たる規模で、日本経済の成長エンジンの一つとなるであろう。

そのためインバウンド（訪日外国人）が増えることは望ましいと言えるが、最近よく「オーバーツーリズム（観光公害）」と言われる負の側面がクローズアップされている。

それが指摘されている地域は、全国的にみると例えば京都、鎌倉、高山等々、富士山などもその一つだろうか。ご存じのように中国表面処理工業組合は山陰、岡山、山口、広島の4地区で構成しているが、その地区の中では広島の「宮島」などがそれに当てはまる。しかし年間465万人もの観光客が訪れる、小さな島「宮島」に足を運ぶ広島県人は意外と少ない。

そうした中で、今年マスコミでも大きく取り上げられたニューヨークタイムズ誌の中で、2024年、世界で行くべき52カ所の観光地の中で、第3位に「山口市」が選ばれた。「何もない山口」、いや私が言っているのではなく、マスコミや山口県出身の某タレントが自虐的に言っている。その反面、ここは「西の京」と呼ばれ、「大内文化」の栄華を極めた雅な歴史空間、温泉などが多くあり静かでディープな魅力として評価されたのであろう。

私事ではあるが、妹も山口市に在住しており、組合行事などを含めれば年に何度か訪れる場所でもある。今月も山口市の「湯田温泉」に投宿し、ほっこりと共に「幕末維新の志士」の足跡に触れることを楽しみにしている。

先のインバウンド目標（年6000万人）の達成は必須ではないものの、広島の岸田さんに替わって、鳥取県に所縁のある石破首相は「地方創生・誘客」を掲げそれらを重点指針に挙げている。

さて、そうした中で私のお薦めの「アンダーツーリズム」を紹介してみたい。ご存じの読者も多くおられると思うが、それは広島県尾道（おのみち）市と愛媛県今治（いまばり）市を結ぶ瀬戸内の海の道、通称「しまなみ海道」である。本誌10月号で執筆された千葉県「福井電化工業」

のサイクリスト福井さんはご存じだと思うが、会員の皆さん、『全長70km

のサイクリングロードを走破してみたいかですか』電動アシストバイクのレンタルもあることから、予約なしの手ぶらのバイク初心者でも、写真の箱庭のような多島美と橋が織りなす絶景や、瀬戸内にまつわる中世の歴史に触れあうことができること請け合いです。

ここは私もしばしば訪れる場所でもあり、老若男女、小学生に交じって、ヘルメットから金髪を潮風になびかせ疾走する、多くの海外サイクリストをよく目にする。もちろん車でのドライブの魅力も、私の知る限り世界でも類がないのではと自負している。



亀老山展望台より来島海峡大橋 撮影:2024/8  
「バイク(徒歩でも)で7つすべての橋を渡れます」